

令和7年度 第1回 橋梁メンテナンス技術研修会 開催報告

日時：令和7年5月20日（火）13:00～16:50

会場：さいたま共済会館

主催：埼玉橋梁メンテナンス研究会

対象：地方自治体職員・技術者・大学関係者など

参加者：受講者86名、関係者約20名

本研修会は、橋梁の維持管理に携わる自治体職員、建設コンサルタント技術者、そして将来を担う大学生など、世代と立場を超えた幅広い層が参加し、極めて実務的かつ先進的な知見を共有する貴重な機会となりました。

各講義では、プレストレスト・コンクリート橋の構造的課題や鋼橋の腐食対策、世界の落橋事例を通じたリスク認識の深化、そして最新のICT・AI技術を活用したスマートインフラマネジメントまで、実践と理論を融合した幅広いテーマが網羅的に展開され、参加者の理解と関心を深める内容となりました。

特に、近年顕在化する技術者不足・インフラ老朽化・予算制約といった現実課題に対し、データに基づく診断力の向上と、戦略的な予防保全への転換こそが求められていることを、すべての講義が一貫して示していた点が印象的です。

また、講師陣からは「挑戦する技術者の姿勢」や「未来を見据える視点」の重要性が繰り返し説かれ、参加者一人ひとりにとって、自身の職務や日々の点検・設計業務を見つめ直すきっかけとなりました。

本研修会で得られた学びを、それぞれの現場や組織に持ち帰り、橋梁保全のさらなる高度化と次世代への技術継承につなげていくことが、今後の持続可能な社会インフラの実現に向けた確かな一歩となることを期待します。

